

平成 20 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	東アジアにおけるエアロゾルの植物・人間系へのインパクト	
領域代表者名	島山 史郎 （東京農工大学・大学院共生科学技術研究院・教授）	
研究期間	平成 20 年度～ 24 年度	
<p>【科学研究費補助金審査部会における所見】</p> <p>本研究領域は、エアロゾルに着目して越境大気汚染の影響を調べようとする重要な研究提案であり、当該研究分野におけるアジアでの指導的立場を確保するためにも、その推進が必要と考えられる。研究領域のマネジメント体制は確立しており、研究項目の組織構成も各計画研究が緊密に連携できるように配慮されている。本研究領域は、複合領域研究の提案なので、エアロゾルの生成、排出、および輸送に関する研究計画に偏ることなく、人間と植物への影響についての調査研究にも重点を置いて欲しい。また、エアロゾル排出源として想定される他国との関係など政策に関わる研究項目を含むことから、社会科学としての視点にも十分に配慮しつつ、物理学、地球科学、環境学、生物学等の研究者が協同して取り組む広域な研究分野を含む学際的研究の具体的な姿を明示されることを期待する。</p>		